

Ⅱ. 主要事業

1. 地域振興のための意見・政策提言活動の展開

当地域中小企業の経営基盤の強化と地域の活性化を目指し、会員の声を集約するとともに、行政や関係諸団体との緊密なネットワークを活用しつつ、意見・政策提言活動を行う。

- (1) 経済行政懇談会を開催し、福山市・福山市議会・当所が地域の諸課題解決に向けての意見交換や地域活性化に係る提言・要望を行う。
- (2) 昨年度に引き続き、正副会頭と部会との懇談会を実施することにより、業界ニーズの聴取と課題の把握に努め、当所事業に反映させるとともに提言・要望活動に活かす。
- (3) 中心市街地再生・活性化特別委員会並びに幹線道路・港湾整備特別委員会を中心に、駅前を含む中心市街地の活性化、また、幹線道路、港湾、産業・流通団地等の産業インフラの基盤整備に関する情報収集を行うとともに、情報を活かした要望活動に努めていく。
- (4) 景気対策、中小・小規模企業施策、税制改正などの諸施策について、日本商工会議所をはじめとする関係団体と連携し、国・県・市等に要望活動を行う。
- (5) 広島県商工会議所連合会、備後地域商工会議所会頭会議との連携を通じて、地域経済の諸課題の解決に向けた意見形成を図る。

2. 中小・小規模企業の成長と経営力の強化

中小・小規模企業の経営基盤の強化と創業・新事業展開支援

地域の産業活動を支え、雇用の維持・創出にも重要な役割を果たしている中小・

小規模企業の成長と発展に向けて、中小企業総合相談所のワンストップ機能を活かしたサービスの充実を図るとともに、事業者に寄り添った支援を展開する。

- (1) 国から認定された経営発達支援計画に基づき「経営環境分析支援」、「経営計画策定支援」、「実行支援」を行い、ビジネスプランに沿った経営を促進する伴走型支援に引き続き注力していく。
- (2) 平成31年10月に予定されている消費税率の引上げおよび軽減税率の導入に向け、中小企業・小規模事業者が円滑に対応できるよう、相談窓口を設置し、専門家相談等を実施するとともに、伴走型支援への誘導を視野に入れたセミナー・研修事業を実施していく。
- (3) 創業者の掘り起こしに向けた「創業塾」や「創業フォローアップ講座」を開催するとともに、関係機関と連携しながら、事業承継・引継ぎ、第二創業に係る支援を推進する。
- (4) 「マル経融資」等公的制度や諸施策を積極的に活用し、行政の経済政策と連携し中小小規模事業者の支援を行い、地域の活性化に資する。
- (5) 中小企業のIT化を支援するためのセミナーの実施や、インターネット、モバイルソリューション、ビッグデータを活用したビジネス支援を推進する。

地域経済の活性化に資する調査・広報活動の展開

地域総合経済団体として、地域経済の活性化や中小企業の健全経営に資する各種調査や広報の充実を図っていく。

- (1) 事業者への有益かつ適切な情報提供の観点から、景気観測調査や賃金調査等各種調査を実施する。
- (2) 定例記者会見の工夫や情報機関への情報提供の強化、広報媒体（機関誌「商工ふくやま」、放送番組「ハロー！商工会議所」）の充実、インターネット

の活用推進（ホームページ・メールマガジン・SNS）等により、情報発信の強化に努めていく。

3. 産業の発展と潜在力の強化

高次都市機能の獲得と活力ある都市基盤の整備

備後圏域の中核都市としてふさわしい高次都市機能の集積や社会資本の整備、情報インフラの確立、アメニティ機能の強化・充実に向けて、関係機関と緊密な連携を図りながら、多様な活動を推進していく。

- (1) 中心市街地活性化の観点から、公共歩道空間を活用した社会実験を実施しながら、エリアの価値向上に向けたエリアマネジメントへの展開を検討していく。
- (2) 福山道路の早期整備を推進することを目的に設立された「福山道路整備促進期成同盟会」活動への積極的な参画を通じて、提言活動の強化を図っていく。
- (3) 関係機関や港湾利用者との連携を密にしながら、重要港湾福山港や松永港の機能強化、並びにクルーズ振興に向けた活動を積極的に展開していく。

新しいビジネスモデルの構築による産業基盤の確立

当地域の特色であるものづくり産業の持続的発展に向けて、ビジネスマッチング事業や知的財産支援事業等、各種事業を積極的に展開していく。また、魅力ある中心市街地の形成に向けて、中心市街地活性化推進事業や人材育成事業等を推進していく。

- (1) ビジネス交流フェアや新規取引開拓商談会など、ビジネスマッチング事業の実施、電子産業関連企業交流グループへの参画などを行い、ものづくり産業の発展を支援する。

- (2) 賑わい創出や人材育成に取り組む商店街の活性化に向けて、商店街活性化・環境整備等まちづくり支援事業や商店街店舗活性化等支援事業、「まちゼミ福山」の開催などにより繁盛店づくりや若手後継者のネットワークの構築支援等に取り組んでいく。
- (3) 次世代においてコアとなる知的財産権の普及・啓発と取得・蓄積に向けて、知的財産支援事業の充実・強化を図っていく。

中小企業の海外ビジネス支援と国際経済交流の推進

グローバル化のますますの進展に適合すべく、中小・小規模企業の海外ビジネス活動に資する取り組みを推進するとともに海外の友好商工会議所との交流を促進する。

- (1) 国際ビジネス研究会等と連携を図り、企業の海外展開を支援する。また、ジェットロ等の各種国際経済団体との連携強化を図り、情報提供、各種セミナー・研修事業を行う。
- (2) 友好提携している「マウイ日本人商工会議所」や「浦項商工会議所」との交流促進により、国際経済交流の推進を図っていく。

人材育成による企業生産性向上と雇用対策の充実

少子高齢化の急速な進展により、生産年齢人口の減少が続く中、「働き方改革」の動向を見極めながら、地域産業を担う人材の確保を支援するとともに、企業が求める人材の育成を推進する。

- (1) (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構と連携しながら生産性向上に特化したセミナーを開催するとともに、事業者の様々な課題解決や現場力の強化を支援するための研修を実施する。また、個別の課題については、福山地域中小企業支援センターに専門家の相談窓口を設け、課題解決を支援する。

- (2) 「地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材」の育成を目的に、産官学が一体となって、海外留学と地元企業のインターンシップを組み合わせたプログラムを実施するため設置された協議会に参画し、当該留学制度運営の一翼を担っていく。
- (3) 中小・小規模企業の人材確保に向けて、関係機関と連携を図る中での人材情報の収集・提供、インターンシップへの積極的な協力、U・Iターン対策事業等を推進していく。
- (4) 各種検定試験の施行を通じ、企業の人材育成を支援する。企業会計を理解するうえで有効な資格である日商簿記について、関係機関への普及・拡大の取り組みを強化していく。
- (5) 大学新卒予定者を対象として、福山市と連携しながら企業見学会の開催や関西等県外の学生と地元企業との交流会等を開催し、地域内中小・小規模企業の人手不足解消の一助とする。

4. 地域資源を活用した都市力の向上

地域資源・観光資源を活用した地域産業の振興

地方創生に係る機関への積極的な参画を通じて、あるいは、さまざまな関係機関との連携を密にしながら、当地域の活性化に資する取り組みを推進していく。また、六次産業化の推進に向けて、参画事業者の支援・育成に取り組んでいく。

- (1) 産学官民で構成する「(仮称)備後福山ワイン振興協議会」を設立し、これまでに商品化された「さんぞうの赤」などの販路開拓や新規参画事業者の育成・支援、福山産ワインの認知度向上・消費拡大に向けた情報発信等の取り組みを展開していく。
- (2) 当地域の地方創生の取り組みの核となっている「福山市総合戦略推進懇話会」

や「びんご圏域活性化戦略会議」において、引き続き、建設的な提言・意見を発信していく。

- (3) 「福山観光コンベンション協会」、「ふくやま・新幹線活性化協議会」、「福山市みなと事業推進委員会」等との連携を密にしながら、当地域の活性化に資する取り組みを推進していく。

地域文化の進展と賑わい創出イベントの積極的展開

当地域の賑わい創出やブランド創出につながる文化・スポーツ振興等の取り組みを推進していく。

- (1) 当地域が誇る「鞆の浦」の地域資源を磨き上げるため「鞆の浦 de ART」を実施する。
- (2) 福山城築城400年に向けて機運の醸成を図るため「福山城あかりまつり」の充実を図る。
- (3) まちなかの賑わい創出に向けて、「ふくやま手しごと自慢市」や「福山おさんぽウォーク」の実施や、関連行事等への支援を継続していく。

5. 当所組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

商工会議所財政基盤と機能の強化

会議所活動の活性化と円滑な運営を図るため、会員増強運動を積極的に推進し、会員組織の拡大を図っていく。また、財政基盤の充実・強化に向けて、各種共済・保険事業の積極的推進、当所ビルテナント入居並びに貸会議室の利用促進を図っていく。

さらに、会員相互のネットワークを強化するため、部会・委員会活動を充実させるとともに、女性会、青年部活動を積極的に支援していく。

- (1) 会議所の活動や事業、広報を通じて、引き続き、会員増強運動を積極的に展開していく。
- (2) 財政基盤強化の観点から、当所ビルへのテナント入居促進や貸会議室の利用促進を図っていくとともに、当初ビルのあり方についても検討を行っていく。
- (3) 会議所活動の活性化の観点から、部会・委員会活動の充実を図っていく。
- (4) 働く女性と子育て支援事業や若手企業家育成事業をはじめとする女性会や青年部の事業・活動を積極的に支援していく。

会員サービス事業の充実と積極展開

会員満足度の向上に向けて、既存の会員サービス事業を検証する中で、事業の再構築を図っていくとともに、福利厚生サービスの見直しを検討していく。

- (1) 会議所活動の理解と周知、会員間相互の交流促進並びに販路拡大に資する会員交流会の充実を図っていく。
- (2) 会員への福利厚生サービスの充実の観点から、「共済加入者の集い」を開催するとともに、リニューアルした生命共済制度「福の山共済」を積極的に推進していく。
- (3) 創業周年に該当する会員事業所および会員である事業所に永年勤続し、功績顕著な従業員等の表彰を行う。